

# 疾病の成り立ちと回復の促進

# 疾病の成り立ちと回復の促進

目標Ⅰ. 健康から疾病を経て回復に至る過程について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 疾病の成立と疾病からの回復	A 疾病の原因	a 疾病を引き起こす内的・外的要因	病理学：第1章B「病気の原因」(p.6~11) 病態生理学：第1章A-2「正常性をゆがめる要因」(p.2~4) 医学概論：第4章B「病気の原因」(p.59~68) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第5章C「生活行動がもたらす健康問題とその予防」(p.169~180) 栄養学：第10章A「食生活の変遷と栄養の問題点」(p.244~247)、B「生活習慣病の予防」(p.247~248) 病理学：第1章B「病気の原因」(p.6~11) 病態生理学：第1章A-2「正常性をゆがめる要因」(p.2~4) 総合医療論：第3章C「疾病の一次予防と健康増進」(p.73~77) 社会保障・社会福祉：第8章F-1-3「疾病の社会化」(p.242~243)
		b 疾病を引き起こす生活習慣	
	B 生体の回復	a 回復過程	病態生理学：第1章A-3「正常への回復に影響する要因」(p.4)
		b 回復に影響する身体・心理・社会的因子	病態生理学：第1章A-3「正常への回復に影響する要因」(p.4)

目標Ⅱ. 疾病による身体内部の変化について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
2 基本的な病変	A 細胞の障害	a 萎縮	病理学：第2章A-2-1「萎縮」(p.15) 病態生理学：第1章C-2「細胞の適応現象」(p.12~13) 医学概論：第5章A-3-2「萎縮」(p.77~78)	
		b 変性	病理学：第2章A-4「細胞と組織の変性」(p.37) 病態生理学：第1章C「変性」(p.12~16) 医学概論：第5章A-3-1「変性」(p.77)	
		c 壊死とアポトーシス	病理学：第2章A-3「細胞の死」(p.19) 病態生理学：第1章C-3「細胞の死」(p.15~16) 医学概論：第5章A-3-3「壊死」(p.78)	
	B 細胞の障害に対する修復・再生・適応	a 創傷とその治癒	病理学：第2章B「組織の修復と創傷治癒」(p.23~26) 病態生理学：第1章D-2「創傷治癒」(p.17~18) 臨床看護：第1章B「手術侵襲と生体の反応」(p.12~20)、第3章A-2「創傷管理」(p.146~152)、第9章D「創傷治癒の看護」(p.363~371) クリティカルケア看護学：第3章I-1-3「創傷の治癒過程」(p.99)	
		b 再生と修復	病理学：第3章A「細胞の損傷と適応」(p.32~37)、第5章A「炎症」(p.72~77) 病態生理学：第1章C-2「細胞の適応現象」(p.12~13)	
		c 肥大と過形成	病理学：第2章A-1-2「肥大と過形成」(p.16) 病態生理学：第1章C-2「細胞の適応現象」(p.12~13)	
	C 基本的な病変とその機序	a 循環障害		基礎看護学 [4] (臨床看護総論)：第3章B-1「循環障害に関連する症状のメカニズム」(p.144~150) 病理学：第3章「循環障害」(p.28~48) 病態生理学：第1章B「循環障害」(p.4~12) クリティカルケア看護学：第3章A-2「侵襲に対する生体反応」(p.43~48) 医学概論：第5章A-1「血行障害による病変」(p.72~77)
			b 炎症・壊疽	病理学：第4章A「炎症とその分類」(p.50~54)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 免疫異常(アレルギー、自己免疫疾患)	<p>病態生理学：第1章D「炎症」(p.16~19)  薬理学：第4章B「炎症と抗炎症薬」(p.118~124)  微生物学：第7章A-6「炎症性サイトカインと急性期反応」(p.103)  臨外看総：第1章C「炎症」(p.20~25)  クリティカルケア看護学：第3章A-2「侵襲に対する生体反応」(p.43~48)  医学概論：第5章A-4「炎症」(p.78~85)  成人看護学 [11] (アレルギー)：第2章C「アレルギーのしくみ」(p.17~21)、第4章「症状と疾患の理解」(p.32~42)  成人看護学 [11] (膠原病)：第2章「自己免疫疾患とその機序」(p.90~94)、第3章「症状とその病態生理」(p.96~100)、第5章「疾患の理解」(p.114~135)  病理学：第4章B「免疫と免疫不全」(p.54~60)、D「アレルギーと自己免疫疾患」(p.61~69)  病態生理学：第3章B-2「免疫による防御が強すぎる場合」(p.55~62)  薬理学：第4章「抗アレルギー薬・抗炎症薬」冒頭(p.114~115)  微生物学：第7章B-7「アレルギー(過敏症)」(p.124)、B-8「自己寛容と自己免疫」(p.124)  クリティカルケア看護学：第3章A-2「侵襲に対する生体反応」(p.43~48)  成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章B「代謝疾患」(p.132~184)</p>
		d 代謝障害	<p>生化学：第17章「代謝の異常」(p.252~263)  病理学：第6章「代謝障害」(p.94~104)  病態生理学：第10章D「代謝機能の正常性の破綻」(p.227~232)  クリティカルケア看護学：第3章A-2「侵襲に対する生体反応」(p.43~48)</p>
		e 老年症候群	<p>老年看護 病態・疾患論：第2章「老年症候群」(p.38~79)  病理学：第7章A「個体の老化と老年症候群」(p.106~107)  病態生理学：第1章I-1「老化」(p.33~34)</p>
		f 先天異常(遺伝子異常)	<p>小児看護学 [2] (小児臨床看護各論)：第1章「染色体異常・胎内環境により発症する先天異常と看護」(p.2~14)  生化学：第19章「先天性代謝異常」(p.292~296)  病理学：第8章「先天異常と遺伝子異常」(p.116~134)  病態生理学：第1章G「先天異常と遺伝子異常」(p.28~31)</p>
		g 腫瘍	<p>病理学：第9章「腫瘍」(p.136~166)  病態生理学：第1章F「腫瘍」(p.23~28)  臨外看総：第1章E「腫瘍」(p.36~45)  がん看護学：第2章「がんの病態と臨床経過」(p.19~52)  医学概論：第5章A-5「腫瘍」(p.85~94)</p>
	D 健康状態を脅かす微生物	a 人と微生物のかかわり	<p>成人看護学 [11] (感染症)：第1章A「あなたを取り巻く感染症」(p.180~182)、B「感染症の歴史を学ぶ」(p.182~185)  微生物学：第1章B「微生物と人間」(p.7)、第2章E「常在細菌叢」(p.34~37)、第6章A-2「生体と病原体」(p.71~72)</p>
		b 微生物の種類と特徴	<p>成人看護学 [11] (感染症)：第2章A「感染症とはなにか」(p.190~193)  病理学：第5章B「おもな病原体と感染症」(p.82~87)  病態生理学：第1章E-1「病原体と感染症」(p.20~21)  微生物学：第1章A-1「微生物の種類と特徴」(p.4)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 微生物の感染経路と潜伏期間	臨床検査：第8章「微生物学的検査」(p.224～256) 成人看護学 [11] (感染症)：第2章B「感染が成立する条件」(p.193～198) 病理学：第5章A-1「感染と体内での拡散」(p.76～79) 病態生理学：第1章E-2「感染の成立」(p.21) 微生物学：第6章B-1「病原体の侵入とその経路」(p.73～74)、第8章「感染源と感染経路からみた感染症」(p.133～141) 臨外看総：第6章E-2「感染経路に対応した感染防止策」(p.229～232)
		d 感染症	成人看護学 [11] (感染症)：第2章「感染症とは」(p.190～208)、第5章「疾患の理解」(p.250～300) 成人看護学 [12] (皮膚)：第5章F「感染症」(p.132～155) 病理学：第5章B「おもな病原体と感染症」(p.82～87) 病態生理学：第1章E「感染症」(p.20～21) 薬理学：第1章「抗感染症薬」(p.62～88) 微生物学：第6章「感染と感染症」(p.69～96)……以下第7～12章：「感染症」の防御、感染経路、予防、検査・診断、治療、現状・対策を含める。 臨外看総：第1章D「感染症」(p.25～36)
		e 薬剤耐性菌	成人看護学 [11] (感染症)：第5章T「多剤耐性菌感染症」(p.298～300) 病理学：第5章C-3「薬剤耐性菌」(p.89) 病態生理学：第1章E-3-2「病原体と抗生物質」(p.22～23) 薬理学：第1章A-3「薬物耐性」(p.65) 微生物学：第11章A-3「薬剤耐性」(p.174～175)、第12章C-2-3「院内感染で問題となっている薬剤耐性菌」(p.203)
3 疾病に対する医療	A 疾病の予防	a 予防接種	小児看護学 [1] (小児看護学概論)：第8章D「予防接種」(p.183～190) 病理学：第5章C-4「予防接種」(p.92) 薬理学：第3章C-2「予防接種薬」(p.110～112) 微生物学：第12章C-4「ワクチンと予防接種」(p.208～211)
	B 疾病の診断	a 健康な状態からの変化を確認する診断過程	[[成人看護学] 各巻の第4章A、B] 医学概論：第6章「病気の診断」(p.100～106)
		b 全身状態評価のための一般的検査	[[成人看護学] 各巻の第4章A、B] 臨床検査：第2部「おもな臨床検査」(p.60～333) 医学概論：第6章C-4「診断と検査」(p.103～105)
		c 特殊な検査(放射線、MRI、超音波、内視鏡)	[[成人看護学] 各巻の第4章A、B] 病理学：付章「病理診断の実際」(p.320～329) 微生物学：第10章「感染症の検査と診断」(p.155～168) 臨床検査：第10章Ⅱ「画像検査」(p.318～328)、Ⅲ「内視鏡検査」(p.328～333) 臨床放射線医学：第1部「画像診断」(p.15～171)
	C 疾病の治療	a 手術療法と適応	基礎看護学 [4] (臨床看護総論)：第4章D「手術療法を受ける対象者への看護」(p.298～311) [[成人看護学] 各巻の第4章BまたはC] 臨外看総：第1章E-4-1「手術療法」(p.43)、第3章A「外科的基本手技」(p.126～146)、B「低侵襲治療」(p.152～160)
		b 麻酔	薬理学：第6章B「全身麻酔薬」(p.155～159) 臨外看総：第2章A「麻酔法」(p.54～80)
		c 放射線による治療	基礎看護学 [4] (臨床看護総論)：第4章C「放射線療法を受ける対象者への看護」(p.284～298) 病理学：第9章D-4-2「放射線療法」(p.162) 臨外看総：第1章E-4-2「放射線療法」(p.43～44)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 輸液療法・輸血	臨床放射線医学：第8章「放射線治療総論」(p.175～196)、第9章「放射線治療と看護」(p.197～204)、第10章「放射線治療各論」(p.205～235) 基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章4「静脈内注射」(p.306～322)、I「輸血管理」(p.322～327) 成人看護学 [4] (血液・造血器)：第4章C-5-2「出血とその対策」(p.82～86) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章D「輸血業務と事故防止」(p.81～93) 薬理学：付章「輸液製剤・輸血剤」(p.298～311) 臨外看総：第2章D「輸血療法」(p.105～115) 救急看護学：第6章H「輸液と輸血」(p.313～316) クリティカルケア看護学：第5章C-1「輸液の管理」(p.159～162)
		e リハビリテーション	臨床検査：第6章H「輸血に関する検査」(p.189～192) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第8章「障害がある人の生活とリハビリテーション」(p.222～236) 成人看護学 [3] (循環器)：第6章F「心臓リハビリテーションと看護」(p.348～357) リハビリテーション看護：全体 医学概論：第7章E「リハビリテーション医学」(p.116～119)
		f 臓器移植	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第13章A-2-1「臓器移植」(p.407) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第4章F「腎移植」(p.111～113) 病理学：第4章D「移植と再生医療」(p.69～74) 臨外看総：第3章C「臓器移植」(p.160～168)、第5章B-2-2「脳死と臓器移植」(p.205～206) 臨外看各：第1章I-A-6-3「肺がんの治療・予後」(p.17～21)、第2章I-A-5-2「心臓移植」(p.107)、第3章I-D-11「肝移植」(p.266～267)
		g 透析療法	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第4章E「透析療法」(p.103～110) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第11章A-3「透析と精神症状」(p.299)
	D 疾病に対する薬物療法	a 与薬	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章「与薬の技術」(p.274～322) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章E-1「事故の視点からみた内服与薬業務の特性—注射業務との違いから理解する」(p.94～98) 薬理学：第1部第2章B-1「薬物の投与経路」(p.24～28)
		b 薬物の体内動態、薬理作用、副作用(有害事象)	薬理学：第1部第2章E-2「薬物の副作用」(p.48～51)
		c 血糖降下薬	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章B-1-4「糖尿病の治療—薬物療法」(p.144～147)、巻末資料「糖尿病治療薬」(p.308～312) 薬理学：第9章A-1「糖尿病治療薬」(p.242～248)
		d 心臓に作用する薬	薬理学：第7章「心臓・血管系に作用する薬物」(p.184～220)
		e 降圧利尿薬	薬理学：第7章E「利尿薬」(p.203～206)
		f 血液凝固に関係する薬	成人看護学 [4] (血液・造血器)：第5章D「出血性疾患」(p.119～126) 薬理学：第7章G-4「抗血液凝固薬」(p.213～216)、G-5「血栓溶解薬および抗血小板薬」(p.218～220)
		g 免疫抑制薬	成人看護学 [11] (膠原病)：第4章C-2「薬物療法」(p.108～111) 薬理学：第3章B「免疫抑制薬」(p.106～107)
		h 抗癌薬	成人看護学 [4] (血液・造血器)：第4章C-4-1「化学療法」(p.69～72)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		i 抗菌薬・抗ウイルス薬	成人看護学 [5] (消化器) : 第4章 C-1-5 「化学療法に用いる薬物」 (p.120~121) 薬理学 : 第2章 「抗がん薬」 (p.90~100) がん看護学 : 第4章 B 「薬物療法」 (p.110~137) 成人看護学 [11] (感染症) : 第4章 「感染症の治療」 (p.232~247) 薬理学 : 第1章 「抗感染症薬」 (p.62~88) 微生物学 : 第11章 B 「各種の化学療法薬」 (p.176~195)
	E 医療による健康被害	a 薬害	成人看護学 [11] (感染症) : 第5章 R-1 「HIV 感染症」 (p.290~293) 病理学 : 第1章 B-3-2 「医原病」 (p.11) 病態生理学 : 第1章 A-2-4 「公害病と医原病」 (p.4) 公衆衛生 : 第7章 F-2-2 「難病対策」 (p.239)
		b ウイルス性肝炎	成人看護学 [5] (消化器) : 第5章 D-1 「肝炎」 (p.209~228)、第6章 E-4-1 「急性肝炎患者の看護」 (p.390~395)、E-4-2 「慢性肝炎患者の看護」 (p.395~397) 病理学 : 第13章 D-2-2 「ウイルス性肝炎」 (p.243~245) 微生物学 : 第16章 C-1 「肝炎ウイルス」 (p.350~357) 臨外看総 : 第1章 D-2-2 中 「C 型肝炎ウイルス」 (p.30)
		c Creutzfeldt-Jakob (クロイツフェルト・ヤコブ) 病	病理学 : 第16章 A-3-5 「プリオン病」 (p.297) 微生物学 : 第16章 C-付 「プリオンとプリオン病」 (p.358~360)
		d 院内感染	病理学 : 第5章 C-2 「院内感染」 (p.90) 微生物学 : 第12章 B-2 「院内感染とその特徴」 (p.202~203) 臨外看総 : 第6章 E 「院内(病院)感染予防」 (p.223~242)

### 目標Ⅲ. 疾病の特性について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
4 神経機能の障害	A 中枢神経系の疾患	a 脳血管系の循環障害	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 A-1 「脳血管障害」 (p.132~150) 病理学 : 第16章 A-2 「脳・神経系の循環障害(脳血管障害)」 (p.288~293) 病態生理学 : 第12章 B-2 「脳循環の正常性の破綻」 (p.258~262) 臨外看各 : 第4章 I-A-3 「脳血管障害」 (p.368~373) リハビリテーション看護 : 第4章 A 「脳血管障害」 (p.136~196)
		b 頭蓋内圧亢進に伴う症状	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-6 「頭蓋内圧亢進と脳ヘルニア(脳嵌入)」 (p.91~95)、第5章 A-2 「脳腫瘍」 (p.150~155) 病理学 : 第16章 A-2-6 「頭蓋内圧亢進症」 (p.293) 病態生理学 : 第12章 B 「脳・神経機能の正常性の破綻」 (p.256)
		c 神経変性(Parkinson (パーキンソン) 病、筋萎縮性側索硬化症 (ALS))	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 E 「脱髄・変性疾患」 (p.191~202) 病理学 : 第16章 A-4 「変性疾患」 (p.297~299) 病態生理学 : 第12章 B-3 「運動制御の正常性の破綻」 (p.262~264)
		d 脱髄性疾患(多発性硬化症)	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 E-1 「脱髄疾患」 (p.191~195) 病理学 : 第16章 A-5 「脱髄疾患」 (p.300~301)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 認知症 (Alzheimer〈アルツハイマー〉病、血管性認知症、Lewy〈レビー小体〉型認知症)	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 I「認知症」(p.221~228) 老年看護 病態・疾患論 : 第4章 A「認知症」(p.119~134) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第4章 C-7-1「認知症」(p.198~205) 病理学 : 第16章 A-4-1「アルツハイマー病」(p.286~287) 病態生理学 : 第12章 B-1-4「認知機能の障害」(p.297)
		f 中枢神経系の感染症	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 A-3「脳の感染症」(p.155~157) 成人看護学 [11] (感染症) : 第5章 K「中枢神経感染症」(p.273~275) 病理学 : 第16章 A-3「脳・神経系の感染症」(p.294~297) 病態生理学 : 第12章 B-2-2「脳脊髄液の正常性の破綻」(p.260~262)
		g 頭部と脊椎の外傷	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 A-4「頭部外傷」(p.157~162) 病理学 : 第16章 A-2-5「頭部外傷」(p.292) 臨外看各 : 第4章 I-A-2「頭部外傷」(p.366~368)、I-B-4「外傷に伴う脊髄の病変」(p.386~388)、第5章 I-A-1「外傷」(p.422~423) 救急看護学 : 第5章 I-1-3「各部の外傷 : 頭頸部・顔面外傷、脊椎・脊髄損傷」(p.231~234)
		h 脊椎の外傷と脊髄損傷	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 A-2「脳腫瘍」(p.150~155) 成人看護学 [10] (運動器) : 第5章 D-2「脊髄損傷」(p.120~121) 臨外看各 : 第4章 I-A-4「脳腫瘍」(p.373~378)、B-3「腫瘍に伴う脊髄の病変」(p.384~386)、B-4「外傷に伴う脊髄の病変」(p.386~388) 救急看護学 : 第5章 I-1-3「各部の外傷 : 脊髄・脊髄損傷」(p.234)
		i 機能的疾患(てんかん、頭痛)	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第4章 C-8「てんかん」(p.212~215)
		j 二次的に意識障害・神経障害を起こす疾患	成人看護学 [5] (消化器) : 第3章 L「意識障害(肝性脳症)」(p.65~69) 成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 B-1「糖尿病」(p.132~164) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-1「意識障害」(p.66~72)、第5章 A-1「脳血管障害」(p.132~150)、G-2「おもな神経系の中毒性疾患」(p.212~215) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第3章 G「尿毒症」(p.59~60) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第4章 C-7-2「症状精神病」(p.205~207)、C-7-3「精神作用物質使用による精神および行動の障害」(p.207~213) 病態生理学 : 第12章 B-1-1「意識障害」(p.253)
		k 腫瘍	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 A-2「脳腫瘍」(p.150~157) 成人看護学 [10] (運動器) : 第5章 H-9「脊髄腫瘍」(p.182~183) 病理学 : 第16章 A-6「脳腫瘍」(p.301~302) 病態生理学 : 第12章 B-1-3「脳腫瘍による脳・神経機能の障害」(p.254~255) 臨外看各 : 第4章 I-A-4「脳腫瘍」(p.373~378)
B	末梢神経系の疾患	a Guillain-Barré〈ギラン・バレー〉症候群	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 C-2-3「ギラン・バレー症候群」(p.175~177)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 糖尿病性神経障害	成人看護学 [10] (運動器) : 第 5 章 F-2 「多発ニューロパシー」 (p.171~172) 病理学 : 第 16 章 A-7-1 「末梢神経障害」 (p.302) 成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第 5 章 B-1-5 「糖尿病の慢性合併症—糖尿病神経障害」 (p.154~156) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 5 章 C-2-1 「糖尿病性ニューロパシー」 (p.174~175) 病理学 : 第 6 章 C-3 「糖尿病の合併症」 (p.99) 病態生理学 : 第 10 章 D-1 「糖代謝の異常」 (p.227)
		c 圧迫性神経障害	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 5 章 C-3 「単神経障害」 (p.177~178)
	C 感覚機能の障害	a 視覚の障害	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 3 章 B-4-2 中 「視野障害」 (p.85~86)、B-5-1 「対光反射の障害と瞳孔不同」 (p.87~88) 成人看護学 [13] (眼) : 第 3 章 A 「視機能に関連した症状」 (p.28~31)、第 5 章 A 「機能の障害」 (p.72~81) 病理学 : 第 18 章 A-1 「眼の疾患」 (p.312~314) 病態生理学 : 第 12 章 B-1-3 「脳腫瘍による脳・神経機能の障害」 (p.254~255) リハビリテーション看護 : 第 6 章 A 「視覚障害」 (p.304~324)
		b 聴覚・平衡覚の障害	成人看護学 [14] (耳鼻) : 第 5 章 A 「耳疾患」 (p.106~132) 病理学 : 第 18 章 A-1 「耳の疾患」 (p.314~315) 病態生理学 : 第 12 章 B-1-3 「脳腫瘍による脳・神経機能の障害」 (p.254~255)、第 13 章 B-2 「聴覚機能の正常性の破綻」 (p.275~277) リハビリテーション看護 : 第 6 章 B 「聴覚障害」 (p.324~334)
		c 嗅覚と味覚の障害	成人看護学 [14] (耳鼻) : 第 3 章 B-3 「嗅覚障害」 (p.44)、C-6 「味覚障害」 (p.151)
		d 皮膚の障害(湿疹、アトピー性皮膚炎、带状疱疹、疥癬)	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第 4 章 C 「アトピー性皮膚炎」 (p.35~36) 成人看護学 [12] (皮膚) : 第 5 章 「疾患の理解」 (p.80~155) 病理学 : 第 18 章 B 「皮膚の疾患」 (p.315~318) 病態生理学 : 第 2 章 A-2-2 「体内の反応による皮膚の正常性の破綻」 (p.41~42)、第 3 章 B-2-1 「アレルギー反応による障害」 (p.55~57)
5 呼吸機能の障害	A 気道と肺の疾患	a 気道・肺の炎症	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 5 章 A 「感染症」 (p.138~164) 成人看護学 [11] (感染症) : 第 5 章 B 「上気道感染症」 (p.252~254)、C 「下気道感染症」 (p.254~257) 病理学 : 第 12 章 A-1 「気道」 (p.202)、B-2 「肺炎」 (p.206~213) 病態生理学 : 第 7 章 B-1-1 「気道と肺の防御機構の破綻」 (p.135~138)
		b 気道の閉塞をきたす疾患(気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患)	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 5 章 C-1 「気管支喘息」 (p.176~181)、C-3 「慢性閉塞性肺疾患」 (p.183~188) 病理学 : 第 12 章 B-3 「閉塞性肺疾患」 (p.214~216) 病態生理学 : 第 7 章 B 「呼吸器の機能の正常性の破綻」 (p.134~149) リハビリテーション看護 : 第 5 章 A 「慢性閉塞性肺疾患」 (p.264~280)
		c 肺循環障害(肺梗塞、肺塞栓症)	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 5 章 D 「肺血栓塞栓症」 (p.188~191) 病理学 : 第 12 章 B-4 「肺の循環障害」 (p.217) 病態生理学 : 第 7 章 B-4 「肺循環の障害」 (p.146~147)



大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 肺腫瘍(癌、中皮腫)	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 5 章 G 「肺腫瘍」 (p.197~210) 病理学 : 第 12 章 B-5 「肺腫瘍」 (p.218~221)、C-1-4 「悪性胸膜中皮腫」 (p.222) 病態生理学 : 第 7 章 B-2 「換気のしくみの破綻」 (p.140~145) 臨外看各 : 第 1 章 I-A-5 「肺良性腫瘍」 (p.13)、I-A-6 「肺がん」 (p.13~21)、I-A-7 「転移性肺腫瘍」 (p.21) がん看護学 : 第 4 章 C-3-5 「治療決定の例(肺がん)」 (p.146~147)
		e 呼吸不全	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 5 章 E 「呼吸不全」 (p.191~195) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 3 章 B-5-4 「呼吸障害」 (p.90~91) 病態生理学 : 第 7 章 B-2 「換気のしくみの破綻」 (p.140~145) 救急看護学 : 第 5 章 C 「呼吸障害への対応」 (p.183~192) クリティカルケア看護学 : 第 3 章 C-1 「呼吸不全」 (p.56)
		f 気胸	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 5 章 I-3 「自然気胸」 (p.212~215) 病理学 : 第 12 章 C-3 「気胸」 (p.221) 病態生理学 : 第 7 章 B-2-2 「胸腔の容積および陰圧の保持障害」 (p.141)
6 循環機能の障害	A 心臓の疾患	a 先天性心疾患	成人看護学 [3] (循環器) : 第 5 章 I 「先天性心疾患」 (p.211~220) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第 8 章 B-2 「先天性心疾患」 (p.193~202) 病理学 : 第 9 章 B-2 「先天性心疾患(心奇形)」 (p.174~177) 病態生理学 : 第 6 章 B-1-3 「心房と心室の機能障害」 (p.115~119) 臨外看各 : 第 6 章 I-C 「先天性心疾患」 (p.487~505)
		b 虚血性心疾患	成人看護学 [3] (循環器) : 第 5 章 A 「虚血性心疾患」 (p.120~149) 病理学 : 第 10 章 B-5 「虚血性心疾患」 (p.179~180) 病態生理学 : 第 6 章 B-1-1 「冠循環の障害」 (p.108~111) 臨外看各 : 第 2 章 I-A-3-4 「虚血性心疾患」 (p.97~100) リハビリテーション看護 : 第 5 章 B 「虚血性心疾患」 (p.281~298)
		c 心筋症	成人看護学 [3] (循環器) : 第 5 章 G-1 「心筋症」 (p.205~209) 病理学 : 第 10 章 B-6 「心筋症」 (p.183) 病態生理学 : 第 6 章 B-1-4 「心筋の障害」 (p.120)
		d 心不全(右心不全、左心不全、心タンポナーデ)	成人看護学 [3] (循環器) : 第 5 章 B 「心不全」 (p.149~161) 病理学 : 第 10 章 B-3 「心不全」 (p.177) 病態生理学 : 第 6 章 B-1-6 「心不全」 (p.121~123)
		e 不整脈	成人看護学 [3] (循環器) : 第 5 章 D 「不整脈」 (p.171~198) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 3 章 E-5 「不整脈」 (p.55) 病態生理学 : 第 6 章 B-1-2 「心筋収縮の指令の障害」 (p.111~115) 臨外看各 : 第 2 章 I-A-4 「不整脈の外科的治療」 (p.102~105)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		f 心内膜炎と弁膜疾患	成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 E 「弁膜症」 (p.198～203)、F 「心膜炎」 (p.204～205) 病理学 : 第10章 B-7 「心内膜と心膜の疾患」 (p.183～184)、B-8 「心臓弁膜症」 (p.185～186) 病態生理学 : 第6章 B-1-3 「心房と心室の機能障害」 (p.115～119)、B-1-5 「心膜の障害」 (p.120～121) 臨外看各 : 第2章 I-A-3-1 「僧帽弁の疾患」 (p.92～94)、I-A-3-2 「大動脈弁の疾患」 (p.95～96)、I-A-3-3 「連合弁膜症」 (p.96～97)
	B 血管系の疾患	a 動脈硬化症	成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 A-3 「冠状動脈硬化の危険因子」 (p.143～149) 病理学 : 第10章 A-2 「動脈硬化症」 (p.170～173) 病態生理学 : 第6章 B-2-2 「動脈の破綻」 (p.125～126)
		b 高血圧	成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 C 「血圧異常」 (p.161～171) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第3章 E-1 「高血圧」 (p.52～53) 病理学 : 第3章 J 「高血圧症」 (p.44～46) 病態生理学 : 第6章 B-2-1 「血圧の異常」 (p.123～125)
		c 閉塞性動脈硬化症	成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 J-3-4 「閉塞性動脈硬化症」 (p.223) 病理学 : 第10章 A-2 「動脈硬化症」 (p.170～173) 病態生理学 : 第6章 B-2-2 「動脈の破綻」 (p.125～126) 臨外看各 : 第2章 I-B-2-2 「慢性動脈閉塞」 (p.111～114)
		d 大動脈瘤・大動脈解離	成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 J-1 「大動脈瘤」 (p.220～221) 病理学 : 第10章 A-3 「動脈瘤・大動脈瘤解離」 (p.173) 病態生理学 : 第6章 B-2-2 「動脈の破綻」 (p.125～126) 臨外看各 : 第2章 I-B-3 「動脈瘤」 (p.117～126)
		e 静脈瘤・静脈血栓症	成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 K-3 「静脈瘤」 (p.227～228) 病理学 : 第10章 A-4 「静脈の疾患」 (p.173～174) 病態生理学 : 第6章 B-2-3 「静脈の破綻」 (p.125～126) 臨外看各 : 第2章 I-B-4-1 「下肢静脈瘤」 (p.127～129)
7 造血機能の障害	A 造血器の疾患	a 貧血	成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第3章 A-1 「貧血」 (p.28～29)、C 「貧血」 (p.35～37)、第4章 A 「赤血球系の異常」 (p.46～63) 病理学 : 第11章 A-2 「貧血」 (p.190～191) 病態生理学 : 第5章 B 「血液の正常性の破綻」 (p.90～94)
		b 出血傾向と凝固・線溶系の異常	成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第3章 A-1 「出血傾向」 (p.30)、C-6 「出血性素因」 (p.40～44)、第5章 D 「出血性疾患」 (p.119～126) 病理学 : 第11章 A-7 「出血性疾患」 (p.195～196) 病態生理学 : 第5章 B-3 「止血・線維素溶解機能の破綻」 (p.97～99) クリティカルケア看護学 : 第3章 F 「凝固・線溶系障害とケア」 (p.78～84)
		c 白血球減少症	成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第3章 C-3 「白血球減少症」 (p.38～40)、第4章 B-1 「無顆粒球症」 (p.63～64) 病理学 : 第11章 A-3-2 「白血球減少症」 (p.192) 病態生理学 : 第5章 B-2-1 「白血球の種類とその数の増減」 (p.94～95)
		d 造血器の腫瘍(白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫)	成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第5章 C 「造血器腫瘍」 (p.65～119)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
8 免疫機能の障害	A 膠原病	a 全身性エリテマトーデス〈SLE〉	<p>病理学：第11章 A-4「白血病」(p.192)、A-6「形質細胞腫と多発性骨髄腫」(p.194)、B-2「悪性リンパ腫」(p.196~199)</p> <p>病態生理学：第5章 B-2-2「白血球の腫瘍化」(p.95~97)</p>	
		b 関節リウマチ	<p>成人看護学 [11] (膠原病)：第5章 B「全身性エリテマトーデス」(p.119~122)</p> <p>病理学：第4章 C-3「膠原病と類縁疾患」(p.68~69)</p> <p>病態生理学：第3章 B-2-2「自己寛容の破綻」(p.59~62)</p> <p>成人看護学 [10] (運動器)：第5章 B-5「関節リウマチ」(p.144~152)</p> <p>成人看護学 [11] (膠原病)：第5章 A「関節リウマチ」(p.114~119)</p> <p>病理学：第4章 C-3「膠原病と類縁疾患」(p.68~69)、第17章 4-3「関節リウマチ」(p.309)</p> <p>病態生理学：第3章 B-2-2「自己寛容の破綻」(p.59~62)</p> <p>リハビリテーション看護：第3章 C「関節リウマチ」(p.116~133)</p>	
		c Sjögren〈シェーグレン〉症候群	<p>成人看護学 [11] (膠原病)：第5章 G「シェーグレン症候群」(p.131~132)</p> <p>病理学：第4章 C-3「膠原病と類縁疾患」(p.68~69)</p> <p>病態生理学：第3章 B-2-2「自己寛容の破綻」(p.59~62)</p>	
		B アレルギー性疾患	a 花粉症〈アレルギー性鼻炎〉	<p>成人看護学 [11] (アレルギー)：第4章 B「アレルギー性鼻炎」(p.34)</p> <p>病理学：第4章 C-1-1「I型アレルギー(即時型アレルギー)」(p.61~62)</p> <p>病態生理学：第3章 B-2-1「アレルギー反応による障害」(p.55~59)</p>
			b 蕁麻疹	<p>臨床検査：第6章 E「アレルギー検査」(p.183~184)</p> <p>成人看護学 [11] (アレルギー)：第4章 F「蕁麻疹」(p.39~40)</p> <p>成人看護学 [12] (皮膚)：第5章 A-2-1「蕁麻疹」(p.86~87)</p> <p>病理学：第18章 B-3「蕁麻疹」(p.316)</p> <p>病態生理学：第3章 B-2-1「アレルギー反応による障害」(p.55~59)</p>
			c 接触皮膚炎	<p>成人看護学 [11] (アレルギー)：第4章 G「接触皮膚炎」(p.40~41)</p> <p>成人看護学 [12] (皮膚)：第5章 A-1-2「接触皮膚炎」(p.82~83)</p> <p>病理学：第4章 C-1-4「IV型アレルギー(遅延型アレルギー)」(p.66)、第17章 B-3「接触皮膚炎」(p.316)</p> <p>病態生理学：第3章 B-2-1「アレルギー反応による障害」(p.55~59)</p>
	C 免疫不全	a ヒト免疫不全ウイルス〈HIV〉感染症	<p>成人看護学 [11] (感染症)：第5章 R-1「HIV感染症」(p.290~293)</p> <p>母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第6章 A-2-14「後天性免疫不全症候群(エイズ)」(p.357~358)</p> <p>病理学：第4章 B-4「免疫不全症」(p.60)</p> <p>病態生理学：第11章 B-2-1「感染防御機構の破綻」(p.238~239)</p> <p>微生物学：第16章 B-11-2「ヒト免疫不全ウイルス」(p.347~350)</p> <p>臨外看総：第1章 D-1-2「HIV」(p.30)</p>	
	9 栄養の摂取・吸収・代謝機能の障害	A 栄養バランスの不均衡による疾患	a メタボリックシンドローム	<p>成人看護学 [3] (循環器)：第5章 A-3-7「複数の因子を保有する病態」(p.147~148)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 肥満	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第 5 章 B-3-4 「メタボリックシンドローム」 (p.179~180)</p> <p>生化学 : 第 17 章 C-3 「脂質異常とメタボリックシンドローム」 (p.259~260)</p> <p>栄養学 : 第 9 章 F-3-2 「メタボリックシンドローム」 (p.216)</p> <p>病理学 : 第 6 章 A 「脂質代謝障害」 (p.94)</p> <p>成人看護学 [3] (循環器) : 第 5 章 A-3-6 「肥満」 (p.146~147)</p> <p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第 5 章 B-3 「肥満症とメタボリックシンドローム」 (p.175~180)</p> <p>栄養学 : 第 9 章 F-3-1 「肥満」 (p.214~216)</p> <p>病理学 : 第 6 章 A-1 「肥満」 (p.94)</p> <p>栄養食事療法 : 第 8 章 A 「肥満」 (p.130~133)</p>
		c 糖尿病	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第 5 章 B-1 「糖尿病」 (p.132~164)</p> <p>生化学 : 第 17 章 B 「糖尿病」 (p.254~257)</p> <p>栄養学 : 第 9 章 F-3-7 「糖尿病」 (p.218~220)</p> <p>病理学 : 第 6 章 C 「糖尿病」 (p.98~100)</p> <p>病態生理学 : 第 10 章 D-1 「糖代謝の異常」 (p.227~230)</p> <p>栄養食事療法 : 第 8 章 D 「糖尿病」 (p.138~141)</p>
		d 脂質異常症(高脂血症)	<p>成人看護学 [3] (循環器) : 第 5 章 A-3-1 「脂質異常症」 (p.144~146)</p> <p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第 5 章 B-2 「脂質異常症」 (p.165~174)</p> <p>生化学 : 第 17 章 C 「脂質異常症」 (p.258~260)</p> <p>栄養学 : 第 9 章 F-3-8 「脂質異常症」 (p.220~221)</p> <p>病理学 : 第 6 章 A 「脂質代謝異常」 (p.43)</p> <p>病態生理学 : 第 10 章 D-2 「脂質代謝の異常」 (p.230~231)</p>
		e 高尿酸血症と痛風	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第 5 章 B-4 「尿酸代謝障害」 (p.180~184)</p> <p>生化学 : 第 17 章 D 「高尿酸血症・痛風」 (p.260~263)</p> <p>栄養学 : 第 9 章 F-3-9 「高尿酸血症・痛風」 (p.221~222)</p> <p>病理学 : 第 6 章 D-2 「痛風」 (p.101)</p> <p>病態生理学 : 第 10 章 D-3 「尿酸代謝の異常」 (p.231)</p> <p>栄養食事療法 : 第 8 章 F 「高尿酸血症・痛風」 (p.144~146)</p>
		f 必須栄養素とエネルギーの不足による疾患	<p>栄養学 : 第 9 章 F-3-3 「やせ」 (p.216~217)、F-3-4 「タンパク質・エネルギー低栄養状態」 (p.217)</p> <p>栄養食事療法 : 第 8 章 B 「エネルギー・タンパク質欠乏症」 (p.133~134)</p>
		g ビタミン欠乏症	<p>栄養学 : 第 9 章 F-3-5 「ビタミンの欠乏症・過剰症」 (p.217~218)</p> <p>栄養食事療法 : 第 8 章 C 「ビタミン・ミネラル欠乏症」 (p.135~138)</p>
	B 口腔、咽頭と食道の疾患	a 口腔、咽頭と食道の機能障害 (咀嚼・嚥下機能障害)	<p>成人看護学 [5] (消化器) : 第 3 章 A 「嚥下困難」 (p.46~47)</p> <p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 3 章 B-5-2 「嚥下障害」 (p.88~89)</p> <p>成人看護学 [14] (耳鼻) : 特論 「摂食・嚥下障害患者の看護」 (p.228~249)</p> <p>成人看護学 [15] (歯・口腔) : 第 3 章 B-3-1 「咀嚼障害」 (p.41)、B-3-2 「嚥下障害」 (p.41~42)</p> <p>病態生理学 : 第 8 章 B-1 「咀嚼・嚥下機能の破綻」 (p.156~159)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 口腔、咽頭と食道の疾患(逆流性食道炎)	<p>リハビリテーション看護：第4章A-5-4「摂食・嚥下障害」(p.168～175)、B-5-3「摂食・嚥下障害」(p.222～224)</p> <p>成人看護学 [5] (消化器)：第5章A「食道の疾患」(p.142～152)</p> <p>成人看護学 [14] (耳鼻)：第5章C「口腔・咽喉頭疾患」(p.148～170)、D「気道・食道・頸部疾患と音声・言語障害」(p.170～177)</p> <p>成人看護学 [15] (歯・口腔)：第5章「疾患の理解」(p.108～161)</p> <p>病理学：第13章A「口腔・食道の疾患」(p.226～228)</p> <p>病態生理学：第8章B-1「咀嚼・嚥下機能の破綻」(p.156～159)</p> <p>臨外看各：第3章I-A「食道の疾患」(p.172～184)</p>
		c う歯・歯周病	<p>成人看護学 [15] (歯・口腔)：第5章「疾患の理解」(p.108～161)</p>
	C 消化管の疾患	a 消化管の炎症と潰瘍	<p>成人看護学 [5] (消化器)：第5章A「食道の疾患」(p.142～152)、B「胃・十二指腸疾患」(p.152～173)、C「腸および腹膜疾患」(p.173～208)</p> <p>病理学：第13章B-2「胃の疾患」(p.229～231)、C-2「腸の疾患」(p.234～240)</p> <p>病態生理学：第8章B-2「胃のはたらきの正常性の破綻」(p.160～162)</p> <p>臨外看各：第3章I-A「食道の疾患」(p.172～184)、I-B-2「胃・十二指腸潰瘍」(p.187～192)、I-B-4「その他の外科的疾患」(p.199)、I-C-3「虚血性腸疾患」(p.206～208)、I-C-4「非特異性炎症性腸疾患」(p.208～215)、I-C-5「特異性炎症性腸疾患」(p.215～216)</p>
		b 消化管の腫瘍	<p>成人看護学 [5] (消化器)：第5章A「食道の疾患」(p.142～152)、B「胃・十二指腸疾患」(p.152～173)、C「腸および腹膜疾患」(p.173～208)</p> <p>病理学：第13章A-3-3「食道がん」(p.228)、B-2-3「胃がん」(p.231)、C-2-6「大腸がん」(p.239)</p> <p>病態生理学：第8章B-2-3「胃の粘膜細胞の悪性化による障害」(p.163)</p> <p>臨外看各：第3章I-A-7「食道がん」(p.179～184)、I-B-3「胃がん」(p.192～199)、I-C-9「腸管ポリープ」(p.223～226)、I-C-10「小腸腫瘍」(p.226～227)、I-C-11「大腸腫瘍」(p.227～234)</p> <p>がん看護学：第4章A-4「手術の種類」(p.99～108)</p>
		c イレウス	<p>成人看護学 [5] (消化器)：第5章C-6「イレウス(腸閉塞症)」(p.189～193)</p> <p>病理学：第12章C-1-5「イレウス」(p.230)</p> <p>病態生理学：第8章B-3-4「腸管制御の破綻」(p.167～168)</p> <p>臨外看各：第9章C-5-1「術後腸閉塞(術後イレウス)」(p.355～357)</p> <p>臨外看各：第3章I-C-7「イレウス」(p.218～221)</p>
		d 腹壁、腹膜、横隔膜の疾患	<p>成人看護学 [5] (消化器)：第5章C「腸および腹膜疾患」(p.173～209)</p> <p>病理学：第13章C-3「腹膜の疾患」(p.241)</p> <p>病態生理学：第8章F-2「腹膜・腹水の正常性の破綻」(p.185～186)</p> <p>臨外看各：第3章I-E-8「腹膜炎」(p.221～223)、I-E-13「急性腹症」(p.238～242)、I-E-14「腹部外傷」(p.242～245)</p>
	D 肝臓・胆嚢・膵臓の疾患	a 肝臓・胆嚢・膵臓の炎症	<p>成人看護学 [5] (消化器)：第5章D「肝臓・胆嚢の疾患」(p.209～255)、E「膵臓の疾患」(p.255～262)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 肝硬変	<p>病理学：第13章 D-2「肝臓・胆管・胆嚢の疾患」(p.242~247)、E-2「脾臓の疾患」(p.251)</p> <p>病態生理学：第8章 D-1-2「肝炎による正常性の破綻」(p.172)、E-2-2「脾臓の機能低下を引き起こす疾患の病態生理」(p.181~182)</p> <p>臨外看各：第3章 I-D-5「肝膿瘍」(p.258~259)、I-D-8「胆嚢炎・胆管炎」(p.264~256)、I-E-3「脾炎」(p.271~273)、I-E-4「脾嚢胞」(p.274)</p> <p>臨床検査：第5章 B「血清酵素の検査」(p.123~128)</p> <p>成人看護学 [5] (消化器)：第5章 D-2「肝硬変症」(p.228~235)</p> <p>病理学：第13章 D-2-5「肝硬変症」(p.247)</p> <p>病態生理学：第8章 D-1-3「肝臓の線維化と肝硬変」(p.172~174)</p>
		c 肝臓・胆嚢・脾臓の腫瘍	<p>成人看護学 [5] (消化器)：第5章 D「肝臓・胆嚢の疾患」(p.209~255)、E「脾臓の疾患」(p.255~262)</p> <p>病理学：第13章 D-2-6「肝がん」(p.248)、E-2-3「脾がん」(p.252)、第15章 B-5「脾島の疾患」(p.285)</p> <p>病態生理学：第8章 D-1-4「肝がんの病態生理」(p.174~175)、E-2-2「脾臓の機能低下を引き起こす疾患の病態生理」(p.181~182)</p>
		d 肝不全	<p>臨外看各：第3章 I-D-3「肝(臓)がん」(p.251~257)、I-D-4「その他の肝腫瘍(瘤)」(p.257~258)、I-D-9「胆嚢がん」(p.265)、I-D-10「胆管がん」(p.266)、I-E-5「脾(臓)がん」(p.275~278)、I-E-6「脾内分泌腫瘍」(p.278~280)</p> <p>成人看護学 [5] (消化器)：第5章 D-4「肝不全」(p.240~241)</p> <p>病態生理学：第8章 D「肝臓の機能の正常性の破綻」(p.171~176)</p>
		e 胆汁代謝・排泄の障害	<p>成人看護学 [5] (消化器)：第3章 K「黄疸」(p.64~65)</p> <p>病理学：第6章 D-4「黄疸」(p.102~103)</p> <p>病態生理学：第8章 D-3「胆汁産生・胆道のしくみの破綻」(p.178~179)</p> <p>臨外看各：第3章 I-D-2「黄疸」(p.249~251)</p> <p>臨床検査：第5章 E「胆汁排泄関連物質の検査」(p.140~143)</p>
10 排泄機能の障害	A 泌尿器の疾患	a 腎炎・慢性腎臓病	<p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 A-3「慢性腎臓病」(p.123~126)、C「糸球体腎炎」(p.130~135)、D「全身性疾患による腎障害」(p.135~145)</p> <p>病理学：第14章 A「腎・泌尿器系の疾患」(p.254~260)</p> <p>病態生理学：第9章 B-2「濾過機能の破綻」(p.197~202)、B-7-NOTE「慢性腎臓病」(p.203)</p> <p>臨床検査：第5章 F「腎機能の検査」(p.147~152)</p>
		b 尿路の炎症	<p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 I「尿路・性器の感染症」(p.153~159)</p> <p>病態生理学：第11章 B-2「濾過機能の破綻」(p.197~200)、B-4「腎間質の障害」(p.201)、C-1「感染」(p.204~205)</p>
		c 腎・尿路の腫瘍	<p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 M「尿路・性器の腫瘍」(p.175~186)</p> <p>病理学：第14章 A-6「腎がん」(p.260)、A-7-3「尿路がん」(p.261)</p> <p>病態生理学：第11章 D「腎・尿路系の悪性腫瘍」(p.207~208)</p>
		d 尿路の通過障害	<p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章 B-5-3「排泄障害」(p.89~90)</p> <p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 J「尿路の通過障害と機能障害」(p.159~166)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 排尿障害	<p>病理学：第14章 A-7「尿路の疾患」(p.260～261)          病態生理学：第11章 C-2「通過障害」(p.205～206)          成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章 B-5-3「排泄障害」(p.89～90)          成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第3章 B「排尿に関連した症状」(p.46～49)          病態生理学：第9章 C「尿をたくわえ排泄するしくみの破綻」(p.204～207)          リハビリテーション看護：第4章 A-5-9「排尿障害」(p.190～192)、C-5-3「排尿障害」(p.245～248)          成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 A「腎不全と慢性腎臓病」(p.117～126)          病理学：第14章 A-5「腎不全」(p.259～260)          病態生理学：第11章 B-7「腎不全」(p.202～204)          臨床検査：第5章 F「腎機能の検査」(p.147～152)</p>
	B 排便の障害	a 便秘	<p>成人看護学 [5] (消化器)：第3章 G「便秘」(p.56～58)          成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章 B-5-3「排泄障害」(p.89～90)          栄養学：第9章 F-2-b-2「便秘」(p.210～211)          病態生理学：第8章 B-3-2「腸管運動の破綻」(p.163～164)          臨外看総：第9章 F-2-5「ストーマ(人工肛門)」(p.379)          栄養食事療法：第6章 K「便秘」(p.91～93)          成人看護学 [5] (消化器)：第3章 F「下痢」(p.55～56)          栄養学：第9章 F-2-b-1「下痢」(p.210)          病態生理学：第8章 B-3-3「腸管内水分量の破綻」(p.164～167)          栄養食事療法：第6章 L「下痢」(p.93～95)</p>
		b 下痢	<p>成人看護学 [5] (消化器)：第3章 F「下痢」(p.55～56)          栄養学：第9章 F-2-b-1「下痢」(p.210)          病態生理学：第8章 B-3-3「腸管内水分量の破綻」(p.164～167)          栄養食事療法：第6章 L「下痢」(p.93～95)</p>
11 内部環境調節機能の障害	A 内分泌系の疾患	a 下垂体の疾患	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 A-1「視床下部－下垂体前葉系疾患」(p.82～94)、A-2「視床下部－下垂体後葉系疾患」(p.94～97)          病理学：第15章 B-1「下垂体の疾患」(p.277～279)          病態生理学：第10章 B-2「視床下部－下垂体の異常」(p.217～219)          臨外看各：第4章 I-A-4-3「下垂体腺腫」(p.377)          臨床検査：第7章 A、B「下垂体ホルモンの検査」(p.196～201)</p>
		b 甲状腺の疾患	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 A-3「甲状腺疾患」(p.79～112)          病理学：第15章 B-2「甲状腺の疾患」(p.279～281)          病態生理学：第10章 B-3「甲状腺の異常」(p.219～220)          臨外看各：第5章 I-B「甲状腺・副甲状腺(上皮小体)の疾患」(p.427～438)          臨床検査：第7章 C「甲状腺ホルモンの検査」(p.202～208)</p>
		c 上皮小体(副甲状腺)の疾患	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 A-4「副甲状腺疾患」(p.112～118)          病理学：第15章 B-3「副甲状腺の疾患」(p.281～282)          病態生理学：第10章 B-4「副甲状腺の異常」(p.220～221)          臨外看各：第5章 I-B「甲状腺・副甲状腺(上皮小体)の疾患」(p.427～438)          臨床検査：第7章 D「副甲状腺ホルモンの検査」(p.208～209)</p>
		d 副腎の疾患	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 A-5「副腎疾患」(p.118～125)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 多発性内分泌腫瘍	<p>病理学：第15章 B-4「副腎の疾患」(p.282~284)          病態生理学：第10章 B-5「副腎皮質の異常」(p.222~223)、B-6「副腎髄質の異常」(p.223~224)          臨外看各：第3章 I-H「副腎の疾患」(p.297~305)          臨床検査：第7章 E、F「副腎ホルモンの検査」(p.209~215)          成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 A-8「多発性内分泌腫瘍症」(p.128~129)          病理学：第15章 B-6「多発性内分泌腫瘍症」(p.286)          臨外看各：第3章 I-E-6-3「多発性内分泌腺腫症」(p.279)</p>
	B 体液の調節障害	a 水と電解質の異常	<p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第3章 C「浮腫」(p.49~51)、D「脱水」(p.51~52)、E-4「電解質の異常」(p.57~58)          病態生理学：第4章 B「体液・電解質の正常性の破綻」(p.70~75)          クリティカルケア看護学：第5章 C「体液・循環管理」(p.159~164)          臨床検査：第5章 I「水・電解質の検査」(p.152~157)</p>
		b 酸塩基平衡の異常	<p>成人看護学 [2] (呼吸器)：第2章 B-4「酸塩基平衡」(p.38~39)、第4章 B-8-2「酸塩基平衡」(p.105~108)          成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第3章 E-5「酸塩基平衡の障害」(p.58~59)          病態生理学：第4章 C「酸・塩基平衡の正常性の破綻」(p.77~79)          クリティカルケア看護学：第5章 C「体液・循環管理」(p.159~164)</p>
	C 自律神経系の機能障害	a 自律神経失調に伴う身体変化(不定愁訴)	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章 C-4-5「身体表現性障害」(p.189~190)、C-12「心身症」(p.219~220)</p>
12 運動機能の障害	A 骨・関節・筋肉・神経筋接合部の疾患	a 骨折・脱臼・捻挫	<p>成人看護学 [10] (運動器)：第5章 A「骨折」(p.96~114)          病理学：第17章 1「骨折」(p.306)          リハビリテーション看護：第3章 B「骨折」(p.92~115)</p>
		b 骨粗鬆症	<p>成人看護学 [10] (運動器)：第5章 H-6「骨粗鬆症」(p.181~182)          老年看護 病態・疾患論：第4章 J-7「骨粗鬆症」(p.228~231)          生化学：第17章 A「骨粗鬆症」(p.252~253)          病理学：第17章 3「骨粗鬆症」(p.306)          病態生理学：第10章 D-4「カルシウム・リン代謝の障害」(p.231~232)</p>
		c 骨の腫瘍	<p>成人看護学 [10] (運動器)：第5章 C「骨腫瘍および軟部腫瘍」(p.157~163)          病理学：第17章 6「骨肉腫」(p.310)、7「転移性骨腫瘍」(p.310)</p>
		d 変形性関節症	<p>成人看護学 [10] (運動器)：第5章 B-4「変形性関節症」(p.142~144)          老年看護 病態・疾患論：第4章 J-2「変形性膝関節症」(p.222~224)          病理学：第17章 4-2「変形性関節症」(p.308)</p>
		e 腰痛症(椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症)	<p>病理学：第17章 5「椎間板ヘルニア」(p.309)          病態生理学：第1章 I-2-2「ヘルニア」(p.32)</p>
		f 筋ジストロフィー	<p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 D-2「進行性筋ジストロフィー」(p.185~187)          病理学：第16章 B-1「進行性筋ジストロフィー」(p.303)</p>



大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		g 重症筋無力症	<p>病態生理学：第12章 C-2-3「筋細胞の障害による筋収縮の正常性の破綻」(p.266～267)</p> <p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 D-1「重症筋無力症」(p.182～185)</p> <p>成人看護学 [10] (運動器)：第5章 F-5-1「筋萎縮性側索硬化症」(p.173)</p> <p>病理学：第16章 B-2「重症筋無力症」(p.304)</p> <p>病態生理学：第12章 B-3-3「上位運動ニューロン・下位運動ニューロンの異常」(p.263～264)</p>
	B 活動や行動に制限による疾患	a 廃用症候群	<p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第6章 A-13「褥瘡の予防と看護」(p.291～296)</p> <p>成人看護学 [12] (皮膚)：特論「褥瘡患者の看護」(p.238～255)</p> <p>在宅看護論：第5章 C-1「褥瘡」(p.191～199)</p> <p>病理学：第7章 A-2「老年症候群と廃用症候群」(p.106)</p> <p>病態生理学：第2章 A-2-1「皮膚の直接傷害による正常性の破綻」(p.39～41)</p> <p>クリティカルケア看護学：第3章 I-2-2「褥瘡」(p.102)</p> <p>リハビリテーション看護：第1章 E-1-1「急性期リハビリテーション」(p.26)、第3章 B-3「骨折のリハビリテーションプログラム」(p.94～96)、B-4-2「関節拘縮」(p.102～106)、B-4-3「筋萎縮」(p.106～115)、第4章 A-5-2「運動障害」(p.148～164)、B-5-1「運動障害」(p.201～218)</p>
13 生殖機能の障害	A 性・生殖器の疾患	a 女性生殖器の疾患	<p>成人看護学 [9] (女性生殖器)：第5章「疾患の理解」(p.97～196)</p> <p>病理学：第14章 B-3「女性生殖器の疾患」(p.264～270)</p> <p>病態生理学：第11章 B-2「女性生殖器の正常性の破綻」(p.238～242)</p>
		b 乳腺の疾患	<p>成人看護学 [9] (女性生殖器)：第5章 B-7「乳房の疾患」(p.139～164)</p> <p>病理学：第14章 C「乳腺の疾患」(p.271～272)</p> <p>病態生理学：第11章 B-2-4「乳がんの病態生理」(p.241～242)</p> <p>臨外看各：第4章 I-D「乳腺の疾患」(p.26～37)</p>
		c 男性生殖器の疾患(前立腺腫瘍、精巣腫瘍)	<p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 I「尿路・性器の感染症」(p.153～159)、M「尿路・性器の腫瘍」(p.175～186)、N「発生・発育の異常」(p.186～190)、N「男性不妊症、男性性機能障害、その他の男性生殖器疾患」(p.190～192)</p> <p>病理学：第14章 B-2「男性生殖器の疾患」(p.262～264)</p> <p>病態生理学：第11章 C「男性の生殖機能の正常性の破綻」(p.242～243)</p>
		d 性機能障害	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 A-6「性腺疾患」(p.125～127)</p> <p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第3章 J-3「精巣および性機能障害」(p.65)、O「男性不妊症、男性性機能障害、その他の男性生殖器疾患」(p.190～192)</p> <p>成人看護学 [9] (女性生殖器)：第5章 C「機能的疾患」(p.164～192)、第6章 D「臓器別疾患・機能的疾患患者の看護」(p.223～253)</p> <p>病態生理学：第11章 B「女性の生殖機能の正常性の破綻」(p.237～242)、C「男性の生殖機能の正常性の破綻」(p.242～243)</p> <p>リハビリテーション看護：第4章 A-5-11「性機能障害」(p.194～195)、C-5-5「性機能障害」(p.250～255)</p>